



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年4月27日
上場取引所 東

上場会社名 四国化成工業株式会社
 コード番号 4099 URL <https://www.shikoku.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 兼 C. E. O. (氏名) 田中 直人
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 片山 和彦 (TEL) 0877-22-4111
 定時株主総会開催予定日 2021年6月24日 配当支払開始予定日 2021年6月4日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	49,590	△3.8	7,401	△5.7	7,997	△0.3	5,760	2.7
2020年3月期	51,564	△2.4	7,848	△2.5	8,022	△4.9	5,610	3.9
(注) 包括利益	2021年3月期		7,732百万円(75.2%)		2020年3月期		4,412百万円(21.0%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	103.27	—	7.9	7.7	14.9
2020年3月期	96.92	—	8.0	8.3	15.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 — 2020年3月期 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	107,344	76,566	70.5	1,360.26
2020年3月期	100,896	71,647	70.2	1,241.76

(参考) 自己資本 2021年3月期 75,718百万円 2020年3月期 70,839百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	7,411	△2,999	89	37,207
2020年3月期	7,385	△6,018	3,875	32,607

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	1,389	24.8	2.0
2021年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00	1,338	23.2	1.8
2022年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00		22.3	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり当期純 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,500	3.9	8,000	8.1	8,300	3.8	6,000	4.2	107.79

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	55,877,263株	2020年3月期	58,948,063株
② 期末自己株式数	2021年3月期	212,603株	2020年3月期	1,900,015株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	55,782,227株	2020年3月期	57,892,498株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、決算短信（添付資料）4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大及び2020年4月からの緊急事態宣言発令下において、景気は急速に悪化しました。宣言解除後、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られたものの、2021年1月の緊急事態宣言の再発出を受けて減速し、また宣言解除後も感染者数にリバウンド傾向がみられるなか、経済活動再開のペースは緩慢なものに留まっています。海外経済においては、米国、中国を中心として、経済活動の段階的再開や各種の景気対策による回復加速が期待されますが、ワクチン接種の遅滞や変異株の流行、財政出動の拡大に伴うインフレ懸念等、様々なリスクを孕んだ状況が続いています。

このような状況下、当連結会計年度の当社グループの売上高は495億90百万円（前年同期比3.8%の減収）、営業利益は74億1百万円（前年同期比5.7%の減益）、経常利益は79億97百万円（前年同期比0.3%の減益）と、前年を下回りましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は57億60百万円（前年同期比2.7%の増益）と、前年を上回りました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①化学品事業

（無機化成品）

ラジアルタイヤ向け原料である不溶性硫黄は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界規模での自動車やタイヤの生産調整の影響を受けて、上半期は国内、海外ともに低調に推移しましたが、下半期は生産活動が正常化し、販売が急回復しました。レーヨン・セロハン向けの二硫化炭素、浴用剤・合成洗剤向けの無水芒硝は、低調に推移しました。

（有機化成品）

殺菌消毒剤塩素化イソシアヌル酸は、国内市場は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う学校のプール授業中止などの影響によりプール薬剤の販売が低迷しましたが、家庭の衛生意識の高まりからくる消毒・殺菌需要の増加を受け、水回り設備（サニタリー）向け薬剤は好調に推移しました。米国市場は、春先からの好天や外出規制により家庭用プール向け薬剤の需要が増加し、好調に推移しました。

（ファインケミカル）

プリント配線板向けの水性防錆剤タフエースは、中国・台湾を中心としたエレクトロニクス市場の回復を受けて、下半期は前年を大きく上回りました。エポキシ樹脂硬化剤（イミダゾール類）を中心とする機能材料は、自動車関連用途では市況悪化の影響を受けたものの、新規開発品が伸張しました。

この結果、化学品事業の売上高は298億50百万円（前年同期比1.0%の減収）、セグメント利益は56億64百万円（前年同期比0.1%の増益）となりました。

②建材事業

新型コロナウイルス感染拡大に伴う内外経済の先行き不透明感が強く、投資を先送りとする傾向が強まるなど様子見基調が続いており、住宅着工や設備投資が弱含む中で、壁材、エクステリアともに低調に推移しました。

この結果、建材事業の売上高は187億60百万円（前年同期比9.0%の減収）、セグメント利益は35億5百万円（前年同期比11.6%の減益）と、いずれも前年を下回りました。

〔参考情報〕

【販売実績】

セグメントの名称		前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	前年同期比(%)
化学品事業				
無機化成品	(百万円)	11,913	10,435	87.6
有機化成品	(百万円)	10,146	10,709	105.5
ファインケミカル	(百万円)	8,090	8,705	107.6
小計	(百万円)	30,150	29,850	99.0
建材事業				
壁材	(百万円)	1,665	1,475	88.6
エクステリア	(百万円)	18,954	17,285	91.2
小計	(百万円)	20,619	18,760	91.0
報告セグメント計	(百万円)	50,770	48,611	95.7
その他	(百万円)	794	979	123.2
合計	(百万円)	51,564	49,590	96.2

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

【海外売上高】

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	
	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)	売上高 (百万円)	連結売上高に占める 海外売上高の割合 (%)
アジア	7,320	14.2	7,319	14.8
北米	5,564	10.8	5,943	12.0
その他の地域	1,931	3.7	1,741	3.5
合計	14,815	28.7	15,004	30.3
連結売上高	51,564		49,590	

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末比64億48百万円増加し、1,073億44百万円となりました。主な増加は、投資有価証券30億98百万円、建設仮勘定30億35百万円であります。

負債は、前連結会計年度末比15億29百万円増加し、307億78百万円となりました。主な増加は、長期借入金38億円あります。

純資産は、前連結会計年度末比49億18百万円増加し、765億66百万円となりました。主な増加は、自己株式19億47百万円、その他有価証券評価差額金18億16百万円あります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から70.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、74億11百万円（前年同期比25百万円の増加）となりました。主な収入項目は、税金等調整前当期純利益82億58百万円、減価償却費18億35百万円、一方で主な支出項目は法人税等の支払額23億88百万円あります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、29億99百万円（前年同期比30億19百万円の減少）となりました。主として有形固定資産の取得による支出36億18百万円あります。

財務活動により得られたキャッシュ・フローは、89百万円（前年同期比37億86百万円の減少）となりました。主な収入項目は、長期借入れによる収入39億円、一方で主な支出項目は、自己株式の取得による支出16億5百万円、配当金の支払額13億54百万円あります。

以上の結果、現金及び現金同等物は、372億7百万円（前連結会計年度末比45億99百万円の増加）となりました。

(4) 今後の見通し

次期の連結業績予想は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
2022年3月 通期	51,500	8,000	8,300	6,000
2021年3月 通期	49,590	7,401	7,997	5,760
増減率(%)	3.9	8.1	3.8	4.2

(注) 業績予想の前提条件として、主要な為替レートは105円/米ドル、128円/ユーロとしております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外からの資金調達の実現性が乏しいことや国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための負担等を考慮し、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成することとしておりますが、今後の必要性に応じてIFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,607	25,907
受取手形及び売掛金	13,057	12,637
電子記録債権	2,095	2,678
有価証券	11,000	13,999
商品及び製品	6,912	6,259
仕掛品	47	46
原材料及び貯蔵品	3,100	3,024
その他	283	471
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	63,103	65,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,148	5,040
機械装置及び運搬具（純額）	3,929	3,176
土地	8,849	8,857
建設仮勘定	736	3,771
その他（純額）	651	646
有形固定資産合計	19,315	21,492
無形固定資産		
投資その他の資産	143	165
投資有価証券	16,607	19,705
繰延税金資産	1,159	324
退職給付に係る資産	201	309
その他	368	325
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	18,333	20,662
固定資産合計	37,792	42,319
資産合計	100,896	107,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,530	6,602
電子記録債務	415	338
短期借入金	2,730	2,530
1年内返済予定の長期借入金	693	74
未払費用	1,396	1,418
未払法人税等	1,356	1,389
未払消費税等	313	201
設備関係支払手形	58	17
設備関係電子記録債務	53	75
その他	4,201	3,055
流動負債合計	17,747	15,702
固定負債		
長期借入金	7,157	10,957
繰延税金負債	1	16
再評価に係る繰延税金負債	1,111	1,111
役員退職慰労引当金	88	77
退職給付に係る負債	2,201	2,134
資産除去債務	379	379
株式給付引当金	23	32
その他	537	365
固定負債合計	11,500	15,075
負債合計	29,248	30,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,867	6,867
資本剰余金	5,815	5,740
利益剰余金	56,063	57,140
自己株式	△2,183	△236
株主資本合計	66,563	69,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,972	3,789
繰延ヘッジ損益	△4	△27
土地再評価差額金	2,533	2,533
為替換算調整勘定	△109	△90
退職給付に係る調整累計額	△115	0
その他の包括利益累計額合計	4,276	6,205
非支配株主持分	808	847
純資産合計	71,647	76,566
負債純資産合計	100,896	107,344

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	51,564	49,590
売上原価	30,479	29,506
売上総利益	21,085	20,083
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	4,532	4,525
広告宣伝費	674	410
給料	2,211	2,222
退職給付費用	170	193
役員退職慰労引当金繰入額	20	17
研究開発費	1,338	1,207
その他	4,289	4,105
販売費及び一般管理費合計	13,236	12,682
営業利益	7,848	7,401
営業外収益		
受取利息	23	47
受取配当金	476	452
為替差益	—	169
雑収入	35	98
営業外収益合計	535	767
営業外費用		
支払利息	14	20
手形売却損	0	—
売上割引	137	125
為替差損	174	—
たな卸資産廃棄損	25	—
雑損失	9	24
営業外費用合計	362	171
経常利益	8,022	7,997
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	5	478
補助金収入	44	35
特別利益合計	50	513
特別損失		
固定資産除却損	19	39
減損損失	—	66
投資有価証券売却損	—	147
特別損失合計	19	252
税金等調整前当期純利益	8,053	8,258
法人税、住民税及び事業税	2,401	2,452
法人税等調整額	7	7
法人税等合計	2,408	2,459
当期純利益	5,644	5,798
非支配株主に帰属する当期純利益	33	38
親会社株主に帰属する当期純利益	5,610	5,760

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	5,644	5,798
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,237	1,821
繰延ヘッジ損益	△0	△23
為替換算調整勘定	△16	18
退職給付に係る調整額	22	116
その他の包括利益合計	△1,231	1,933
包括利益	4,412	7,732
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,389	7,689
非支配株主に係る包括利益	22	42

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,867	5,740	51,798	△322	64,084
当期変動額					
剰余金の配当			△1,345		△1,345
親会社株主に帰属する当期純利益			5,610		5,610
自己株式の取得				△1,786	△1,786
株式給付信託による自己株式の取得				△166	△166
株式給付信託に対する自己株式の処分		75		91	166
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	75	4,265	△1,861	2,478
当期末残高	6,867	5,815	56,063	△2,183	66,563

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,199	△4	2,533	△93	△137	5,498	788	70,370
当期変動額								
剰余金の配当								△1,345
親会社株主に帰属する当期純利益								5,610
自己株式の取得								△1,786
株式給付信託による自己株式の取得								△166
株式給付信託に対する自己株式の処分								166
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,226	△0	—	△16	22	△1,221	19	△1,201
当期変動額合計	△1,226	△0	—	△16	22	△1,221	19	1,277
当期末残高	1,972	△4	2,533	△109	△115	4,276	808	71,647

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	6,867	5,815	56,063	△2,183	66,563
当期変動額					
剰余金の配当			△1,354		△1,354
親会社株主に帰属する当期純利益			5,760		5,760
自己株式の取得				△1,605	△1,605
自己株式の処分		9		137	146
自己株式の消却		△84	△3,329	3,413	—
株式給付信託による自己株式の処分				2	2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△75	1,076	1,947	2,949
当期末残高	6,867	5,740	57,140	△236	69,512

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	1,972	△4	2,533	△109	△115	4,276	808	71,647
当期変動額								
剰余金の配当								△1,354
親会社株主に帰属する当期純利益								5,760
自己株式の取得								△1,605
自己株式の処分								146
自己株式の消却								—
株式給付信託による自己株式の処分								2
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	1,816	△23	—	18	116	1,928	39	1,968
当期変動額合計	1,816	△23	—	18	116	1,928	39	4,918
当期末残高	3,789	△27	2,533	△90	0	6,205	847	76,566

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	8,053	8,258
減価償却費	2,189	1,835
減損損失	—	66
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13	△36
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	29	29
受取利息及び受取配当金	△500	△499
支払利息	14	20
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	△331
補助金収入	△44	△35
有形固定資産除却損	19	39
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,459	△131
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△631	747
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,902	△22
未払消費税等の増減額 (△は減少)	189	△126
その他	△9	△527
小計	8,874	9,286
利息及び配当金の受取額	500	500
利息の支払額	△16	△21
補助金の受取額	44	35
法人税等の支払額	△2,017	△2,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,385	7,411
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△4,000	△3,200
有価証券の償還による収入	1,000	4,500
有形固定資産の取得による支出	△1,479	△3,618
有形固定資産の売却による収入	2	0
有形固定資産の除却による支出	△13	△32
投資有価証券の取得による支出	△2,506	△3,255
投資有価証券の売却及び償還による収入	6	1,613
定期預金の増減額 (△は増加)	1,000	1,000
その他	△27	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,018	△2,999
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	800	△200
長期借入れによる収入	7,200	3,900
長期借入金の返済による支出	△945	△718
自己株式の取得による支出	△1,786	△1,605
自己株式の売却による収入	—	146
配当金の支払額	△1,345	△1,354
非支配株主への配当金の支払額	△3	△3
その他	△44	△75
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,875	89
現金及び現金同等物に係る換算差額	△76	98
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,166	4,599
現金及び現金同等物の期首残高	27,441	32,607
現金及び現金同等物の期末残高	32,607	37,207

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「化学製品事業」及び「建材事業」の2つを報告セグメントとしております。

「化学製品事業」は、無機化成品・有機化成品・ファインケミカル等の化学工業薬品の生産・販売活動を行っており、「建材事業」は、内外装用化粧壁・エクステリア・アルミシャッター等の建築土木資材の生産・販売活動を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースでの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学製品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,150	20,619	50,770	794	51,564	—	51,564
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	5	5	237	243	△243	—
計	30,151	20,624	50,775	1,032	51,808	△243	51,564
セグメント利益	5,656	3,966	9,622	91	9,714	△1,865	7,848
セグメント資産	41,353	16,445	57,798	1,800	59,599	41,296	100,896
その他の項目							
減価償却費	1,738	260	1,999	53	2,052	135	2,188
減損損失	—	—	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,640	243	1,884	2	1,886	74	1,961

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,865百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,866百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額41,296百万円は、セグメント間取引消去△6百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産41,303百万円が含まれております。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額74百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。

3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2020年4月1日 至 2021年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	化学品事業	建材事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,850	18,760	48,611	979	49,590	—	49,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	2	3	266	270	△270	—
計	29,851	18,763	48,615	1,246	49,861	△270	49,590
セグメント利益	5,664	3,505	9,170	130	9,301	△1,899	7,401
セグメント資産	45,681	15,620	61,302	2,156	63,458	43,885	107,344
その他の項目							
減価償却費	1,425	225	1,651	53	1,705	129	1,835
減損損失	—	66	66	—	66	—	66
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,446	328	3,775	110	3,886	220	4,106

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム事業及びフード事業を含んでおります。
- 2 セグメント利益の調整額△1,899百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,900百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
セグメント資産の調整額43,885百万円は、セグメント間取引消去△4百万円、各報告セグメントに配分していない全社資産43,890百万円が含まれております。
有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額220百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。
- 3 セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,241円76銭	1,360円26銭
1株当たり当期純利益金額	96円92銭	103円27銭

(注) 1 株主資本において自己株式として計上されている株式報酬制度に係る信託が保有する当社株式は、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めており、また、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めております。当連結会計年度において控除した当該期中平均株式数は148千株、前連結会計年度において控除した当該期中平均株式数は150千株であります。潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,610	5,760
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,610	5,760
普通株式の期中平均株式数 (千株)	57,892	55,782

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額 (百万円)	71,647	76,566
純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円)	808	847
(うち非支配株主持分) (百万円)	(808)	(847)
普通株式に係る期末の純資産額 (百万円)	70,839	75,718
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の 数 (千株)	57,048	55,664

(重要な後発事象)

該当事項はありません。